2013
6
No.43

The Kashiwara Miharibanの

かしわら見張り番

発行所 かしわら見張り番

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX.072-977-8782
info@kashiwara-miharibanの.com

維新の会はもう終わった

「大阪維新の会」というだけで当選した中野市長。もう賞味期限は切れた！

このところの日本維新の会代表の橋下氏の発言に、「日本維新の会は終わった」の声が多く聞かれる。特に「従軍慰安婦問題」や「在日米軍に風俗業の活用」で、世界中を敵に回してしまった。

そんな人もいるが、そんなじゃない人もいる

橋下氏が「銃弾の飛び交う中で、命をかけて走って行くときにどこかで休息をさせてあげると考えたら従軍慰安婦は必要だ」から始まった騒動で、自分の首をしめる状況を引き起こしている。

この発言で、日本維新の会も危機感を強め、東西の幹部が集まる事態となり、橋下氏も幹部に陳謝しと伝えられる。とはいっても、「在日米軍に風俗業の慰安婦制度が必要なのは誰でも分かる。慰安婦制度じゃなくても、風俗業は必要。活用しないと、米海兵隊の猛者の性的なエネルギーはきちんとコントロールできない。活用」発言は撤回すると表明したが、「従軍慰安婦問題」に関しては、撤回しないとひらきなおっている。

橋下氏は石原慎太郎氏と共同代表を統投するらしいが、6月に行われる東京都議選と夏の参院選について、大きく影響することが予想される。

「従軍慰安婦問題」に「正当化するつもりはない。私自身が「必要だ」と言ったワケではない」と言っているらしいが、きちんと撤回しないと、自身の首を回しないと、自身の首を切られる。

先日、大阪市内で旧日本軍の「従軍慰安婦」だった女性の体験を語る集会が開かれた。「軍需工場に行くといわれたのに」「軍の奴隷になった」と証言する女性たちは、「そんな妄想を言う人がなぜ大阪市長をしているのか」と橋下氏をまさに女性の人権を踏みにじる言動に唖然させられる。

また、戦争で戦った人たちみんなが利用した慰安婦のことも、日本の毒なことだ。「お母さん！」と最後に言葉を残し、散っていった特攻隊の若い兵士たちって行った英霊に対して侮辱である。

週刊文春5月23日号より

「口は関なり、舌は兵なり、言を出して当たらざれば反って自ら傷なう」

口は関所で舌はそこに詰める兵である。いったん関をだした言葉が適切でなければ自らを損なうということ。

「セクハラ・変態」報道の中野市長には「維新」はふさわしい!?

女性の人権を踏みにじるような橋下氏が率いる「日本維新の会」の応援を受けた中野市長。もともと「セクハラ・変態」教師として、一部でその実体が明らかになっていたわけで、もともと、橋下氏と大筋で考え方が合っているということか？似たもの同士か!?

「女生徒を失禁させて自慢していた」という「女性蔑視」の中野市長も今すぐ元生徒に謝罪して、やめるべきである。

柏原市浄化槽整備推進事業

柏原市では、現在1社のみ！前から決まっていたのか？

市の説明によると、昨年末にこの件を公表し、今年初め、参加表明をしたのが1社で、「優先交渉権者」として選ばれた。それが柏原市浄化槽PFI株式会社である。それが柏原市浄化槽PFI株式会社であり、その代表企業が株式会社日商事である。

日商事は、柏原市のゴミ収集業者日清掃と同族会社である。他社は同業者は5年の随時契約。しかし、日清掃は、現在の世帯数による一年更新の委託契約である。そのため、他の業者より一世帯に対して290円程高いのである。他社は、世帯数が増えても同じ契約されている。今回、日商事「優先交渉権者」となって、3月28日に任命されていが、市長就任は3月11日。短期間で優先交渉権者と認めるのは、あまりにも不自然である。

さらにおかしいのは、市内の業者がこの公募を知らなかったと？3社が入札に参加する予定が、何故か入札は1社（日商事）になったと。議員に2社名を聞くと分からないと答えだった。

中野市長の醜態により「セクハラ・変態のまち」という汚名を着せられた上、前市長・岡本氏のやり方を引き継いで「不正入札・談合のまち」としても知られる柏原市。不正のないクリーンな町として有名になってほしいものだ。

市長に就任して20日足らずで優先交渉者が決定？

市の浄化整備推進事業で、またもや指定業者に対する、きなくさいうわさが飛び交っている。表面上は「公募」という形をとりながら、実際は前から決まっていたと思われるふしがあるのだ。

前市長に関わり合いのある審議会委員

市が個人の住宅等に浄化槽を設置し、維持管理する大型浄化槽事業が雁多尾畑334地区で始まることになった。浄化槽の整備を図ることにより、川・用水路の水質や生活環境の保全・公衆衛生の向上を図ることが目的である。しかし、一部の地域の方が知らないとも言っている。

この工事に関しては、設置工事、維持管理を一括して複数年で委託することになった。公募には「プロポーザル公募方式」を採用する。これは見積金額だけでなく、設計の取り組み方などの内容も検討して業者を決めるというものである。

しかしながら、この業者を決める審議会6人のうちほとんどが、数々の疑惑を残した岡本前市長が任命したメンバーである。彼らでの公正な審議ができたのであろうか。